

ふいっ子



太陽のように
温かい心を持ち
地域で明るく輝き
家族の絆を深める子

編集・発行

一般社団法人 福井県子ども会育成連合会

〒918-8135 福井県福井市下六条町14-1「福井県生活学習館内」

TEL (0776)41-3908 FAX (0776)41-3916

ホームページ <http://fukui-kids.or.jp/>

レットイットゴー!! 子ども会 「ありのままに!!」

県ユースリーダーと
(東陸育成研「福井大会」)



みんなで冬期宿泊研修
(鯖江市子連)



蔵王山に登ろう
(福井市岡保地区東藤島地区子ども会)



化石発掘体験
(南越前町子連)



子どもまつり
(福井市子連)



ビーチボールバレー (敦賀市子連)

コイン落とし
(あわら市子連)



かるた大会 (勝山市子連)



新聞ドーム (ジュニア・リーダー宿泊連絡会)

INDEX

- 2P 上田会長ご逝去・新会長ご挨拶
全国大会
- 東海北陸地区育成研究協議会「福井大会」
- 3P 福井地区子どもまつり
奥越高志地区子どもまつり
ドリーム キッズ アドベンチャー
福井県ジュニア・リーダー研修会
- 4P 福井県ジュニア・リーダー宿泊連絡会
鯖丹地区子ども会育成研究大会
嶺南地区子ども会育成研究大会
南越地区子ども会育成研究大会
- 5P 栄光の表彰
全国子ども会安全共済会に入ろう
- 6P 壁新聞コンクール

新会長ご挨拶



一般社団法人
福井県子ども会育成連合会
会長 中西 美和子

去る1月26日、当連合会上田秀徽会長が永眠されました。ここにあらためて生前のご交誼に深謝し、心からお礼を申し上げます。

このたび、後任として、会長に就任いたしました。はなはだ微力ではございますが、子ども会の発展のために全身全霊を尽くされた故上田会長の遺志を受け継ぎ、次の世代を担う子どもたちの育成のために、又、子ども会の充実と振興のために、全力を挙げて取り組み、努力していく所存です。

どうか、ご指導・ご鞭撻・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

上田会長ご逝去

福井県子ども会育成連合会 上田秀徽会長が、今年1月26日、薬効のかいなく急逝されました。上田会長は、平成26年度の秋の叙勲授与にあたり、子ども会を中心とする永年の社会教育活動が認められ、社会教育功労「旭日双光章」の栄誉に浴されたばかりでした。

「子ども会の原点は単位子ども会にある」との信念にもとづき、組織改革や青年指導者の育成、安全で安心な子ども会活動の充実と発展に寄与されました。

これまでの業績に心より感謝申し上げ、深く哀悼の意を捧げます。

ありがとうございました。

第48回(平成26年度)全国子ども会育成中央会議・研究大会

14名
参加!

2月20日(金)~22日(日) in 名古屋市中区役所ホール

(テーマ) **自然と共生・未来に贈りたい環境**
～子どもたちに残し、伝えたい自然をなごやから!～

愛知万博の遺産を継承した今回のテーマのもと、動物写真家の小原玲氏による「記念講演」は意義深く、また、「視察・体験コース」も充実していました。

最終日の「自然との共生 未来への提言」では、幼児期の自然体験が子どもの感性を育て、その経験をした子どもは、社会人になってから、人間性や社会に順応する能力が高いという講演を聞き、自然体験を行う子ども会活動の必要性を強く感じました。

全子連表彰は、山口博県子連副会長、國本幸夫さん(大野市)、敦賀市南地区子ども会育成連合会が受賞されました。



東海北陸地区育成研究協議会 「福井大会」を終えて

約300名
参加!

10月4日(土)~5日(日) in 福井市「アオッサ」

(テーマ) **子ども会について、大いに語り合おう!**
～現状における子どもの減少と、今取り組む課題と方策～

少子高齢化の中で大きな課題を抱えている単位子ども会や連合体について、4つの分散会でワークショップやシンポジウム形式で、大いに語り合いました。

また、「勝山左義長ばやし」のアトラクション、県ユース・リーダーによる司会、各分散会講師の基調講演、西川知事による講演なども大変好評でした。



福井地区子どもまつり

(福井市子ども大会)

350名
参加!

in 福井市西体育館 11月16日(日)

午前中は式典後、「熊本市・結城市との姉妹友好都市交流事業の体験発表」や「県の壁新聞コンクールで入賞した円山地区の表彰と取組み発表」などがありました。

午後からは、5つのブースのF1チャレンジやダブルダッチの体験を楽しみました。四重と六重飛びの世界記録を持つという森口さんのチームがゲストとして大活躍。福井市のシニアやジュニア・リーダーのゲームも盛りあがりました。



越前市・南越地区子どもまつり

12月7日(日) in 越前市国高等学校

120名
参加!

(テーマ)「ドリーム キッズ アドベンチャー in 福井」開催

～越前市子連40周年記念(全子連の集団遊び普及活動)～

前日よりの寒波、いきなりの雪模様の中、開会式・5分間KYT・ジュニアやユース・リーダーのスタッフ紹介と続いた後、全子連の縄レンジャー（5名）が登場しての妙技に拍手喝采！

保護者をはじめ、役員もゲームに参加する熱気。子どもたちも初めて出会ったグループの仲間たちとすぐに協力し合い、寒さを吹き飛ばす楽しい一日を過ごしました。



奥越高志地区子どもまつり

in 学びの里「めいりん」(大野市生涯学習センター)

100名を超える親子が
「子ども手づくり教室」に参加! 11月9日(日)

「光る部屋かざり」では、下絵に沿って切り取ったセロファンを貼り付けてステンドグラスのような壁飾りを作製しました。「くぎうちゲーム」「ペーパークラフトひこうき」「木の実のリース」製作にも挑戦。どの子も手づくりの作品に満足そうでした。



福井県ジュニア・リーダー研修会 (嶺南地区) 開催される!

約50名
参加!

10月25日(土)～26日(日) in 国立若狭湾青少年自然の家

(テーマ)全線開通～つながろうジュニア線～

舞鶴若狭自動車道全線開通を機に、嶺南地区のジュニア・リーダーが協力し“つながる”ことを目標として開催しました。

1日目は各班に分かれ、創作劇の作成・発表・野外炊飯のメニュー作りを行いました。2日目は野外炊飯を行い、薪わりや火おこし・調理など、役割を分担して昼食を作りました。

今回の交流で得た嶺南地区のつながりが、ジュニア・リーダーの輪を広げ、交流が深まっていくことを期待しています。



福井県ジュニア・リーダー宿泊連絡会

2月14日(土)~15日(日) in 福井県立 芦原青年の家

約50名
参加! (テーマ) Return ~基礎に立ち返る~

今回は、レクリエーションや講義をとおして、ジュニア・リーダーの活動における基礎・基本を見直し、その資質の向上を目指しました。

各地区的ジュニア・リーダー同士がより一層交流を深め、今後の活動に活かしてくれるこことを願っています。



アンケートより

- 参考になったのはレクリエーション。これを取り入れようと思ったりしたのがいくつもあった!!
- 新聞ドーム作り最高!私たちの研修会でも、ぜひ、取り入れたい!
- 講義で「プログラムの組み立て方」を学び、実際に作ったこと。他の地区の子の作り方がとても参考になりました。

嶺南地区 子ども会育成研究大会

11月2日(日) in 高浜町保健福祉センター

約50名
参加!

(テーマ) 子どもたちが生きる力を身につけるために
~今私たち大人ができること~

壁新聞等の表彰後、「N P O 法人沖縄キャリア教育学校支援ネットワーク」代表理事の翁長有希氏による講演会を開催しました。沖縄のキャリア教育の先進事例をもとに、「次世代を担う子どもたちの育成にはキャリア教育の視点が大切だ。」との講師の提言に、子どもたちが生きていく中で、大人として大きな責任があることを改めて感じさせられました。



鯖丹地区 子ども会育成研究大会

8月21日(木) in NPOセンター

26名
参加!

(テーマ) 子ども会活動とKYT(危険・予知・トレーニング)

福井県子連の田中治和氏による講演後、5グループに分かれ、紙面によるKYTを行いました。危険を絞り込み、対策を考え、行動目標のスローガンをグループごとに作り、唱和し、全員で確認しました。

参加した各団体の皆さん、この研修を生かして、これから意識してKYTに取り組まれることを期待したいです。



越前市・南越地区育成研究会

11月23日(日) in 越前市市民ホール

61名
参加!

(テーマ) 大人と子どもの引き出しあう“カンケイ”

発想デザイン研究室の富永良史氏を講師に、大人・子どものチームによるそれぞれのかんけいの引き出し方をワークショップ形式で研修しました。話し合いあり、実践ありで楽しく興味深く学びました。





池吉 青鈴 五大 松谷 森 南 高
本石 山木 嵐 塚 本川 下 村
忠末 春和 雅由 育俊 千 文 恵
弘子 男彦 世紀 育倫 明護 孝恵

個人の部
《福井県子ども会連合会表彰》

赤藤 広山
崎 原瀬 嵐
嘉一慶 明暢
一朗二美子

《東海北陸地区子ども会連絡協議会表彰》

折戸 子ども会
福井市ジニア・リーダーズクラブ
南地区子ども会育成連合会
敦賀市

個人の部 (指導者・育成者)
國本 幸夫
山口 博

団体の部 (子ども会およびジュニア・リーダー組織)
大野市
大野市
敦賀市

団体の部

松永地区子ども会
芝原一丁目子ども会
木部新保子ども会
東荒井子ども会

小浜市
坂井市

おおい町
おおい町
おおい町
下長測子ども会
(優良子ども会)

《児童福祉関係者知事表彰》

井常 松谷 守荒寺 北高 小下 若西 渡山 岩松 斎竹 中田
口田 本口 岡木 野出 畑林 出野 村辺 内田 井藤 内野
春健詩 龍礼 裕泰 由大 裕実 一哲 風里 杏
菜太生 礼郎 子子 基梨 晃花 蓮豊 南也 等季 奈美 南奈
若狭 狹町 町町 町町 町町 前前 前前 前前 江野 浜浜 浜浜 浜浜
若狭 狹町 町町 町町 町町 前前 前前 前前 江野 浜浜 浜浜 浜浜
高坂 越前 前前 前前 鯖大小 小福 福井 福井 福井
高坂 越前 前前 前前 鯖大小 小福 福井 福井 福井
坂井 市市 市市 市市 市市 市市 市市 市市 市市

おめでとう栄光の表彰

《福井県教育委員会表彰》
(青少年地域活動獎励賞)

櫻角 大湊 井宮 安野
井谷 矢上 田久 村
優夏 千大 一 奈津子
衣海 寛輝 咲生

大野市
大野市
敦賀市

小浜市
坂井市

松永地区子ども会
芝原一丁目子ども会
木部新保子ども会
東荒井子ども会

小浜市
坂井市

安全・安心な子ども会活動を!!

子ども会活動を安心して行うために、
「子ども会安全共済会」に加入
することも忘れずに!!

1人年額払込金
230円

死亡	600 万円	事故発生日より180日以内に 死亡した場合
障後害	600 万円～ 7 万円	(後遺障害等級表による)
疾負 病傷	保険医療費総額の 30% 【治療期間は180日を限度とする】 総額50万円を支給限度とする。 ※注【保険医療機関に限定します。総額と領収証記載の総合医療点数から算出します】	
賠 償 責 任 險	対人 対物	1事故 5 億円を限度 / 1名 1 億円を限度 自己負担額なし 1事故 200 万円を限度 1事故自己負担額 1,000 円

▼ 支払事例 ▼

(疾病負傷) 子ども会旅行で町内の保養所に行き、プール遊びをしていた時にプールサイドで転倒し、わき腹をうつった。痛みが取れないで病院へ行くと、あばら骨を骨折していた。(大人)

(賠償責任保険) 子ども会夏季レクリエーションで借りた施設のふすまにスーパー ボールを当てて、穴を開けた。

※ 賠償責任保険の支払の有無等は、保険会社が判断します。

編集委員

山崎 暢子 柏谷 敏晴 伊藤 祐稔
五十嵐健之 坂田 裕幸 岡田 祐果
幸道江美子 渡辺 則久 笛吹 智明
塚谷津弥子 吉村 卓也 山口 和代

編集後記

「ふくいっ子」をとおして、子どもたちの生き生きとしたありのままの姿をお伝えできたでしょうか。故上田会長の遺志を継承し、地区や地域づくりに貢献できる子ども会を目標として、福井県子ども会連一丸となって、これからも頑張ります。来年度も、皆さまの各地区、地域の活動情報をよろしくお願いします!

第38回

壁新聞コンクール

知事賞

越前市桧尾谷町子ども会



「ヒオダニ タイムトラベル新聞」

福井新聞社長賞

越前市余川町子ども会



県議会議長賞

越前市五分市町子ども会



「五分市 GOGO (ゴーゴー) 新聞」

県教育委員会賞

坂井市平野子ども会



「北本町新聞」

福井テレビ社長賞

坂井市浜地子ども会



「妖怪浜地ウォッチ」

県子連会長賞

坂井市覚善子ども会



「覚善 KIDS スマイル号」

最高の知事賞に輝いた「ヒオダニタイムトラベル新聞」、県議会賞の「五分市 GOGO 新聞」は地域の歴史、文化を深く調べ上げた点を評価しました。世界中の情報が瞬時に伝わるインターネットの社会ですが、自分の住む地域のことを知る機会は少ないという現象が起きています。地域を訪ね回り、年配の人の話に耳を傾けることは子どもたちに古里への愛着と誇りを育てる絶好の機会となるでしょう。また、手書きの壁新聞を共同作業で作り上げていく過程では、子どもたちに仲間意識を芽生えさせます。子ども会壁新聞コンクールも新年度は、第39回目を迎えます。子どもらしい興味や視点で「地域の宝」を意欲的に発掘する作品が多く寄せられることを希望します。

前回に続いて審査を受け持ちましたが、今回は特に優れた作品が多かったようです。充実した内容の特集記事を掲載した作品が目立ち、子どもたちがより多くの時間や労力をかけた様子がうかがえました。他の審査員も同じ感想を抱いたと思います。

最高の知事賞に輝いた「ヒオダニタイムトラベル新聞」、「五分市 GOGO 新聞」は地域の歴史、文化を深く調べ上げた点を評価しました。世界中の情報が瞬時に伝わるインターネットの社会ですが、自分の住む地域のことを知る機会は少ないという現象が起きています。地域を訪ね回り、年配の人の話に耳を傾けることは子どもたちに古里への愛着と誇りを育てる絶好の機会となるでしょう。また、手書きの壁新聞を共同作業で作り上げていく過程では、子どもたちに仲間意識を芽生えさせます。子ども会壁新聞コンクールも新年度は、第39回目を迎えます。子どもらしい興味や視点で「地域の宝」を意欲的に発掘する作品が多く寄せられることを希望します。

福井新聞社編集局メディア整理部
部長 野路 芳幸

子ども会壁新聞
コンクールを審査して

〈低学年の部〉

賞	市町名	壁新聞の名称	子ども会名
優秀賞	小浜市	加茂ふるさと新聞	加茂子ども会